科学技術高等評議会（HCST）

1. ミッション：「研究のための長期計画法」に基づき設立された。研究、技術移転、イノベーション政策に関する国の基本方針に関して、首相及び閣僚の諮問に応えるほか、国として喫緊に取り組むべき課題等を抽出し、政府に提案する。首相直属の機関。2006年6月14日設立

2. メンバー：科学・技術分野の学識経験者21名（非常勤）から構成。現メンバーは2009年10月15日任命、任期4年。

科学技術に関する有識者（○）5名～12名（現構成では12名）、企業関係者（■）5名～12名（現構成では8名）、議会科学技術評価・選択委員会委員（※）1名から構成。科学技術に関する有識者及び企業関係者の総数は20名とされ、うち少なくとも3名は海外で活動をしている又はしていた者を含むこととされている。

3. 事務局：高等教育研究省

M. Jean Jouzel（議長）
CEA研究部長、ﾎﾟｰﾙ・ｴﾐｰﾙ・ｳﾞｨｸﾄｰﾙ局地研理事会議長（○）

Mme Catherine Langlais（副議長）
ｻﾝ・ｺﾞﾊﾞﾝ・ﾙｼｪﾙｼｭ社長（■）

M. Alain Aspect
ｴｺｰﾙ・ﾎﾟﾘﾃｸﾆｸ及び光学研究所教授、CNRS研究部長（○）

M. Yves Bamberger
EDF R&D部長（■）

M. Claude BIRRAUX
国民議会議員、OPECST委員長（※）

M. Antoine Compagnon
ｺﾚｰｼﾞｭ・ﾄﾞｩ・ﾌﾗﾝｽ教授、ｺﾛﾝﾋﾞｱ大学教授（○）

Mme Dominique Costantini
ﾋﾞｵｱﾘｱﾝｽ・ﾌｧﾙﾏ会長（■）

Mme Elisabeth Crouzet-Pavan
ﾊﾟﾘ第4大学教授（○）

M. Mathias Dewatripont
ﾌﾞﾘｭｯｾﾙ自由大学ｿﾙﾋﾞｪｲﾋﾞｼﾞﾈｽｽｸｰﾙ学長（○）

M. Michel Dutang
ｳﾞｪｵﾘｱ・ｱﾝﾋﾞﾛﾇﾏﾝ技術開発部長（■）

Mme Anne Ephrussi
欧州分子生物学研究所発展生物学部門長（○）

M. Mathias Fink
ｽｰﾊﾟｰｿﾆｯｸ・ｲﾏｼﾞﾝ

M. Claude Griscelli
元INSERM所長、ﾊﾟﾘ・ﾃﾞｶﾙﾄﾞ大学教授（○）

Mme Michèle Lamont
ﾊｰﾊﾞｰﾄﾞ大学教授（○）

M. Jean-Claude Latombe
ｽﾀﾝﾌｫｰﾄﾞ大学教授（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ・ｻｲｴﾝｽ）（○）

Mme Marion Leboyer
ﾊﾟﾘ12大学教授、ｸﾚﾃｨｭ大学病院精神科長（○）

M. Pierre-Louis Lions
ｺﾚｰｼﾞｭ・ﾄﾞｩ・ﾌﾗﾝｽ及びｴｺｰﾙ・ﾎﾟﾘﾃｸﾆｸ教授（○）

M. Jean-François Minster
ﾄﾀﾙ科学部長
元IFREMER理事長（■）

M. Jean-Pierre Tillon
ﾕﾆｵﾝ・ｺｰﾍﾟﾗﾃｨﾌﾞ・ｲﾝ・ｳﾞｨｳﾞｫ科学部長（■）

Mme Magali Vaissière
欧州宇宙機関（ESA）通信・統合運用部長（■）

M. Jean Weissenbach
CNRS研究部長、ｼﾞｪﾉｽｺｰﾌﾟ所長（○）

研究技術高等会議（CSRT）

1．研究技術高等会議について

- 高等教育大臣の諮問機関
- 1982年設置
- 科学技術政策に関する重要な選択に関して諮問を受ける
- 民政研究開発予算の配分、議会に提出される研究・技術開発年次報告、科学・技術の見通しと分析の報告、研究組織に関する改革プロジェクト等について諮問を受ける
- 科学技術高等評議会（HCST）と密に連絡しあい、協力することになっている

2．ペクレス大臣による研究技術高等会議の改革

- 2008年10月21日、ペクレス高等教育・研究大臣によって改革がなされた。
- 新しく非営利社団（保健衛生、環境、科学技術文化部門）からの代表者の迎え入れ
- 研究分野における国内の最新情報の分析のため、動向観測・分析という任務も付与された。

研究技術高等会議（CSRT）メンバー

議長：高等教育研究大臣
副議長：Dominique CHAGNOLLAUD
事務局長：Gérard COUTIN

【科学技術コミュニティからの代表者：22名】

Joël ANDRIANTSIMBAZOVINA –ラ・ロッシュ大学
Pierre-Etienne BOST – 技術アカデミー
Elisabeth BOUCHAUD – フランス原子力庁
Dominique CHAGNOLLAUD – パリ第二大学
François-Xavier de CHARENTENAY– 技術アカデミー
Geneviève COMTE-BELLOT– 科学アカデミー
Geneviève DEBOUZY – 国立宇宙研究センター
Pascale DELECLUSE – フランス気象庁
Sonia ESCAICH – ムタビリス社
Catherine JESSUS – 国立科学研究センター
Anne-Marie GUIMIER-SORBETS – パリ第五大学
Nicole GUISO – パスツール研究所
Isabelle de LAMBERTERIE – 国立科学研究センター
Elizabeth MAC INTYRE –ネッカー小児病院
Irène NENNER-BAUMEL – コンサルタント
François PECCOUD – 元 コンピエーニュ工科大学長
Martine PRETCEILLE – ベルナール・グレゴリー財団
Bernard RENAULT – 国立科学研究センター
Anne SCHROEDER – トラスティド・ロジック社
Marie-Noëlle SEMERIA – フランス原子力庁
Renée VENTURA-CLAPIER – 国立科学研究センター
Francis-André WOLLMAN – 国立科学研究センター

【労働界、社会・文化・経済、地方組織からの代表者：22名】

Jean-Pierre ALIX –国立科学研究センター
Claude AUFORT – 労働組合連合
Olivier AYNAUD – 自由業組合
Dominique BALLUTAUD – 工員労働組合連合
Pierre CHOUKROUNE – エクス・マルセイユ第三大学
François DEROO – Petits débrouillards協会
Charles EL NOUTY – 中小企業連盟
Françoise FABRE – フランス原子力庁
Laurent GOUZENES – フランス経営者団体
Patrick LEGRAND – フランス環境団体連盟
Patrick LEMAIRE – フランス労働民主連合
Robert MAHLER – アルストム社
Pascale MOLLIER – キリスト労働連合
Sylvie PITTIA – 国家公務員組合連盟
Christian POYAU – 起業家連盟
Sophie ROHFRITSCH – アルザス地方評議会
Claude SAUNIER – 元 上院（元老院）議員
François-Xaxier SAUVAGE – 企業管理職組合
Jean-Louis SCHILANSKY – 石油企業連盟
Jean-Louis SOUBEYROUX – 教職員連合
Jean-Paul SOULILLOU – ナント大学
Catherine VERGELY – 小児がん協会

フランスのファンディングシステムの特徴

- 省庁単位ではなく、ミッション単位で管理される予算
  - 2006年以降本格導入された予算配分システム（LOLF）
  - 国の予算はすべてミッション単位で管理
  - 高等教育・研究に割り当てられたミッションがMIRES
  - MIRESに割り当てられた資金を省庁間の調整で配分（高等教育・研究省が主導的な役割）

- 機関助成中心のシステム
  - 国立研究センター（CNRS），原子力・新エネルギー庁（CEA）などの強い国立研究機関
  - 競争的資金の割合は10%程度
  - 競争的資金導入は1990年代後半、2005年以降本格化
  - 2010年の「将来への投資」プログラムを加味すると、2020年までの間は競争的資金の割合は20%程度